

役員所感

副理事長 田中 一裕

【基本方針】

上越JCに入会して6年が経過しました。沢山の仲間に出会い苦楽を共にし、多くを学ばせていただきました。まだ若輩ではありますが、それでも充実した6年のキャリアを持つものとして、これから素晴らしいJCライフを送る後輩たちに私がいただいた感謝と学びを少しでも伝えたい、そう思いながら基本資料を捲ると、一つの言葉に目が止まりました。JCIクリードの一節に“人類への奉仕が人生最善の仕事である”とあります。驚嘆。この言葉には、私が学んできた6年間の全てが詰め込まれていたのです。

JC活動に於いて、仕事に於いて、家庭に於いて、どの場面でもこの言葉は見事に当てはまります。本気で地域を元気にしようと活動するとき、ステークホルダーの役に立ちたいと本気で思ったとき、家族の笑顔を本気で見たいと思ったとき、あなたは私心を捨て滅私で奉仕を行うことが出来るはずです。返って来るものは違います。JC活動では地域力の向上と自身の成長が、仕事では売上と適正な利益が、家庭では団欒と愛が、あなたの努力に伴う形で返って来るでしょう。見返りは求めてはいけません。しかし、求めずとも“ありがとう”という気持ちが形になり返って来るものと思います。そしてそれはJC青経塾の8サティスファクションにもある、関わる全ての人が幸せになる仕組みを目指す事業によく表現されています。これを実現する社会こそ、我々JCが標榜する明るく豊かな社会であり、それに気づかせてくれる貴重な修練の場がJCなのではないかと私は考えています。滅私の気持ちで取り組めば“人類への奉仕が人生最善の仕事である”ことの意味を知り、自身を、会社を、地域を変えていくリーダーとしての原動力が身に着くはずです。人類への奉仕が仕事。多くの同志がこの気づきに共感し、有意義な人生を送ることを望みます。

私達が率先して行動することで、その力が多くの企業・団体・行政に伝播し、地域力を向上させます。我々JAYCEEは地域を牽引するリーダーでなければなりません。なぜならば、私達は会費と、時間と、幾許かの自費を投じながら学び、成長し続けているからです。誇りと自負を胸に、共に進んで参りましょう。